

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	AJF従事者の人数	受益対象者の範囲/人数	事業費の金額(千円)
アフリカ支援事業	アフリカにルーツを持つ子どもを対象とした「アフリカンキッズクラブ」を運営し、アフリカ文化に触れ、交流するイベントを開催した。また、他団体の企画やフェスティバルなどにも積極的に参加した。	2019年4月～2020年3月	東京都内、愛知県内等	10人	アフリカにルーツを持つ子どもおよび保護者	1,439
	アフロビーツダンスの月1回のクラスを実施した(全8回)。	2019年5月19日～2020年2月23日	東京都新宿区	5人	各回40人	
	アフリカ関連のフェスティバルに参加(アフロビーツダンス)し交流を広げた。 ・アフリカ日比谷フェスティバル(日比谷公園) ・アフリカンアメリカンカリビアンカルチャーフェスティバル(代々木公園)	2019年6月23日 2019年9月8日	東京都千代田区 東京都渋谷区	5人 5人	40人 40人	
	ユースを対象とした「アフリカユースミートアップ」を開始し、思いや経験を共有したり、テーマについて話し合う4回のイベントを開催した。	2019年7月7日～2020年3月22日	東京都渋谷区等	4人	各回25人	
	Harmony Café(ユース対象)で、セネガル料理を作り、交流した。	2019年6月2日	東京都新宿区	5人	15人	
	ナイジェリアに里帰りした親子の体験を聞く報告会を開催した。	2019年6月9日	東京都新宿区	6人	35人	
	鮮やかなアフリカ布を使って切り絵アートを製作する講座を開催した。	2019年7月28日	東京都新宿区	6人	40人	
	「アフリカキッズクラブ東海」を設立し、東海3県の子ども・親が参加し、ヘアケアやスポーツなど3回のイベントを実施した。(8月、10月、12月)	2019年8月～2022年3月	愛知県名古屋市等	4人	各回40人	
	アフリカを知らう！ユースミートアップ(よこはまユースとの連携事業)を行った。	2019年8月24日	神奈川県横浜市	5人	40人	
	クリスマス会(協力: 拓殖大学アフリカ研究愛好会)を親子を対象に開催した。	2019年12月15日	東京都新宿区	7人	70人	
ネットワーク形成事業	アフリカンキッズクラブ、アフリカユースミートアップ、アフリカンキッズクラブ東海の各SNS(facebook, Instagram)での情報発信、VO1SS(オンラインメディア)と連携してユースのインタビュー記事の発信など行い、多くの人に繋がった。 在日アフリカ人コミュニティと交流・連携し、アフリカ理解の促進と相談業務を実施。また、「アフリカ人と共に生きる連続講座」を企画・開催(東京都助成)。 ・第1回 アフリカの暮らし・文化・日本で共に生きるために ・第2回 在住アフリカ人の生活相談のニーズ ・第3回 アフリカからの難民—NPOによる支援と私たちにできること	2019年4月～2020年3月	東京都内、岐阜県内等	8人	全国のアフリカにルーツを持つ子ども・保護者、市民	6,185
	「なんみんフォーラム」に加盟し、他団体と連携し、日本での生活に課題を抱える難民・難民申請者を支援した。	2019年11月16日、12月14日、2020年1月25日	東京都渋谷区	5人	在日アフリカ人、在日アフリカ人支援関係者、市民等各回30人	
	GIJ/IDI(*1)・NGO連絡会、NGO・労組国際協働フォーラム(「エイズおよび感染症グループ」と「合同企画委員会」)に参加し、アフリカや国際協力活動に関わるNGO同士の連携強化に努め、それぞれの分野の取り組みを主導した。 ウェブサイトで公開しているアフリカに関わるNGOデータベースを更新した。	2019年4月～2020年3月	東京都内	2人	国内外関係NGO、日本政府(特に外務省)、日本労働組合総連合会	
	市民ネットワーク for TICADの事務局を務めTICAD7で市民社会の窓口として参加者の登録(500人超)、日本のNGOと外務省の対話(2019年度として3回、全4回)を行った。定例会10回、世話人会12回開催、高級実務者会合(エチオピア)出席、シンポジウム(8月25日)「これから始まるアフリカ」主催、TICAD出席(8月)、アフリカの保健分野の市民団体(EANNASO、WACI Health、REME)とサイドイベント開催、外務省との連携協議会(3回)他、イベント「今のアフリカ」、「グローバルフェスタ」、「よこはま国際フォーラム」等に参加	2019年4月～2020年3月	AJF事務所	2人	NGO、市民、企業	
アフリカ調査・研究事業	市民ネットワーク for TICADの事務局を務めTICAD7で市民社会の窓口として参加者の登録(500人超)、日本のNGOと外務省の対話(2019年度として3回、全4回)を行った。定例会10回、世話人会12回開催、高級実務者会合(エチオピア)出席、シンポジウム(8月25日)「これから始まるアフリカ」主催、TICAD出席(8月)、アフリカの保健分野の市民団体(EANNASO、WACI Health、REME)とサイドイベント開催、外務省との連携協議会(3回)他、イベント「今のアフリカ」、「グローバルフェスタ」、「よこはま国際フォーラム」等に参加	2019年4月～2020年3月	東京都内	2人	国内外関係NGO、日本政府(特に外務省)、日本労働組合総連合会	295
	市民ネットワーク for TICADの事務局を務めTICAD7で市民社会の窓口として参加者の登録(500人超)、日本のNGOと外務省の対話(2019年度として3回、全4回)を行った。定例会10回、世話人会12回開催、高級実務者会合(エチオピア)出席、シンポジウム(8月25日)「これから始まるアフリカ」主催、TICAD出席(8月)、アフリカの保健分野の市民団体(EANNASO、WACI Health、REME)とサイドイベント開催、外務省との連携協議会(3回)他、イベント「今のアフリカ」、「グローバルフェスタ」、「よこはま国際フォーラム」等に参加	2019年4月～2020年3月	AJF事務所	2人	NGO、市民、企業	
	市民ネットワーク for TICADの事務局を務めTICAD7で市民社会の窓口として参加者の登録(500人超)、日本のNGOと外務省の対話(2019年度として3回、全4回)を行った。定例会10回、世話人会12回開催、高級実務者会合(エチオピア)出席、シンポジウム(8月25日)「これから始まるアフリカ」主催、TICAD出席(8月)、アフリカの保健分野の市民団体(EANNASO、WACI Health、REME)とサイドイベント開催、外務省との連携協議会(3回)他、イベント「今のアフリカ」、「グローバルフェスタ」、「よこはま国際フォーラム」等に参加	2019年4月～2020年3月	AJF事務所	2人	NGO、市民、企業	
	市民ネットワーク for TICADの事務局を務めTICAD7で市民社会の窓口として参加者の登録(500人超)、日本のNGOと外務省の対話(2019年度として3回、全4回)を行った。定例会10回、世話人会12回開催、高級実務者会合(エチオピア)出席、シンポジウム(8月25日)「これから始まるアフリカ」主催、TICAD出席(8月)、アフリカの保健分野の市民団体(EANNASO、WACI Health、REME)とサイドイベント開催、外務省との連携協議会(3回)他、イベント「今のアフリカ」、「グローバルフェスタ」、「よこはま国際フォーラム」等に参加	2019年4月～2020年3月	AJF事務所	2人	NGO、市民、企業	
	市民ネットワーク for TICADの事務局を務めTICAD7で市民社会の窓口として参加者の登録(500人超)、日本のNGOと外務省の対話(2019年度として3回、全4回)を行った。定例会10回、世話人会12回開催、高級実務者会合(エチオピア)出席、シンポジウム(8月25日)「これから始まるアフリカ」主催、TICAD出席(8月)、アフリカの保健分野の市民団体(EANNASO、WACI Health、REME)とサイドイベント開催、外務省との連携協議会(3回)他、イベント「今のアフリカ」、「グローバルフェスタ」、「よこはま国際フォーラム」等に参加	2019年4月～2020年3月	AJF事務所	2人	NGO、市民、企業	
アフリカ調査・研究事業	AJF主催・共催・後援事業として、熱帯林や野生生物、それに関わる社会問題の研究調査を元にして、特にアフリカの自然環境・野生生物に焦点を当てた地球環境問題について、セミナー形式で「地球が壊れる前に」上映会等による教育普及活動を日本全国各地で合計24回実施。 ・「地球が壊れる前に」上映会&講演会 ・セミナー【テーマ: 森林保全、野生生物、象牙問題、エボラ、資源開発と自然再生エネルギー及びサステイナビリティ(衣料、油圧関係)】	2019年3月13日～2020年2月9日(18回) 2019年7月20日～2020年3月	日本全国各地	3人	・計634名(各14～70名/学生98名・親子30名含む) ・計148名(各13～40名)	295
	2017年3月から行なっていたヨウムの保全を目指したクラウドファンディングを2019年12月まで継続。(合計支援額は1,838,945円、支援数は249件)。定期的に報告書やセミナー案内を支援者に発信、ギフトの発送などを行った。結果的に、密猟者から押収したヨウムのケアや野生復帰を進めるための、ヨウム会に必要な装備や薬品を補填することができ、これまで押収されたヨウムのほとんどすべての野生復帰に成功した。	2019年4月～2019年12月	東京都台東区 コンゴ共和国	3人	市民: 支援数249件	
	アフリカにおける食料安全保障に関する啓発等のため以下を実施した。 ・「世界食料デー」月間2019プレイベント開催 ・「世界食料デー」月間「WORLD FOOD NIGHT 2019 in 横浜」開催	2019年6月21日、7月3日 2019年10月11日	東京都千代田区、神奈川県横浜市	4人	計150人	
	「FAOの資料を読む学習会」をほぼ毎月開催し、日本語訳した資料をAJFウェブサイトで紹介した。	2019年4月～2020年3月	東京都台東区	2人	10人	
	世界各地のエイズに関わる最新情報を紹介するメールマガジン「グローバル・エイズ・アップデート」354～356号と号外を発行した。また、メルマガ配信サービスの事業停止に伴い、メルマガ発行体制を再編した。	2019年4月～2020年3月	東京都台東区	10人	1350部発行	
政策提言事業	エイズに関わる国際的ネットワークに参加し、日本の関与を高める取り組みを強化した。グローバルファンド(*2)活動者ネットワーク(GFAN)、APCASO(旧称: アジア太平洋エイズ・サービス組織評議会)など	2019年4月～2020年3月	東京都内、アムステルダム(オランダ)、バンコク(タイ)	3人	世界及びアジア太平洋のエイズ活動家等(200名程度)	9,440
	ユニバーサル・ヘルズ・カバレッジ(UHC)に関する国際機関「UHC2030」の市民社会参画メカニズム(CSEM)に関わり、UHCに関する知見の提供や調査研究・政策提言を実施した。	2019年12月～2020年3月	東京都内、バンコク(タイ)	3人	UHC2030CSEMメンバー(15人程度)	
	国内外のNGOと連携し、国際的な保健に関する政策提言を行った。Civil 20(C20)の国際保健ワーキンググループ各種調整、会合の企画運営、参加呼びかけ、情報発信、関係者間の調整、政治プロセスへの介入等を行った。4月にC20、6月に大阪でG20でのメディアワーク、10月に岡山市にてG20保健大臣会合サイドイベントを共催。10月のグローバルファンド(世界エイズ・結核・マラリア対策基金)増資プロセスに関与し、日本の積極的な取り組みを促進した。11月にC20引継ぎ式でサウジアラビアのC20コーディネーターに移譲した。2020年G20の政策提言文書の議論に参加し、オンラインによるサウジアラビア政府との対話に参加した。	2019年4月～2020年3月	東京都内、大阪市、ソウル(韓国)、リヤド(サウジアラビア)等	3人	国際協力NGO40団体(GIJ)、計100人	
アフリカ理解促進事業	AJFのウェブサイトを更新し、活動やイベントの紹介・報告、AJFの活動に関わる各種の情報・資料を掲載し、アフリカ理解を深めるコンテンツを充実した。	2019年4月～2020年3月	AJF事務所	5人	AJF会員、ウェブサイトの閲覧者等	285
	アフリカ熱帯林や野生生物の課題、それに関わる社会問題、日本との関係などについての国内外の関連報道記事をウェブサイトやメルマガリスト等を通じて会員に紹介したりした。必要に応じ記事を翻訳して紹介した。紹介記事41本(うち翻訳記事9本)。内訳: 内容(本数): 野生生物の違法取引(31)、野生生物と人畜共通感染症(2)、先住民族(3)、資源開発(1)、環境問題(2)、森林伐採(1)、野生生物の生態(1)。	2019年4月～2020年3月	AJF事務所	2人	AJF会員、ウェブサイトの閲覧者等	
	会報「アフリカNOW」第112号、113号を編集し、発行した。	2019年7月、2020年3月	AJF事務所	7人	400部程度作成。会員および関係者への発送	
	アフリカ関連イベント・情報を紹介するメールマガジン「AFRICA ONLINE」第991号～第1043号を発行した。	2019年4月～2020年3月	AJF事務所	4人	約2000部発行	
	グローバルフェスタJAPAN2019に出席した。	2019年9月29日、30日	東京都江東区	10人	フェスタ来場者	
	アフリカ健康フォーラム(第5回「アフリカの栄養」)を開催した。	2019年5月24日	東京都新宿区	3人	60人	
AJF設立25周年記念イベント「これからアフリカの人々ができること～アフリカ日本協議会の歴史を振り返りながら」を開催した。	2020年2月8日	東京都新宿区	15人	100人		

\*1. 地球規模問題イニシアティブ(GIJ)及び沖縄感染症対策イニシアティブ(IDI)に関する外務省・NGO懇談会

\*2. 世界エイズ・結核・マラリア対策基金